

「地震に負けない」笑顔の傘開け



今月11日に渋谷公園通りで催しの下見をした際の様子。当日は100本の笑顔の傘で
あふれる=水谷事務所提供

世界の子供たちの笑顔をプリントした傘を一斉に開くイベントが、5月4日、中国・上海万博(5月1日開幕)と渋谷の2カ所で同時刻にある。上海万博の開幕に合わせたイベントの一つ。主催者は「アジアを代表する都市を笑顔で結び希望のメッセージを発信したい」と話している。[小原大士]

00本分ずつ用意。午後2時50分(上海は現地時間同1時50分)に、日本のアーティストらが参加する「上海万博

渋谷と上海

来月4日 同時刻に

00本分ずつ用意。午後2時50分(上海は現地時間同1時50分)に、日本のアーティストらが参加する「上海万博

200本 被災地の子プリント

公園彫刻プロジェクトのオーブニングセレモニーと、渋谷公園通りで行われるフラワーフェスティバルの会場で、一斉に傘を開く。

上海会場の模様はインターネット回線を通じ、渋谷の街頭ビジョ

傘にプリントされる笑顔は中国・四川大地震やインドネシア・スマトラ沖地震の被災地、阪神大震災後の神戸で撮影したもの。1

00本分ずつ用意。午後2時50分(上海は現地時間同1時50分)に、日本のアーティストらが参加する「上海万博

トディレクターの水谷トディレクターの水谷幸三さん(59)。80年代から大手企業の広告ボスターを手がけ、世界的な賞も受賞してきた

が、現在は「Merryプロジェクト」という社会貢献活動に取り組んでいる。「子供の笑顔は未来の希望」を

テーマに、震災後の神戸や米同時多発テロ後のニューヨークなど、26カ国で3万人以上の子供たちの笑顔を撮影し続けてきた。

笑顔をプリントした傘は、08年の北京五輪開会式や、昨年12月に被災5年を迎えたスマ

トラ沖地震の追悼式典でも披露。5年の愛知万博でもイベントを行っており、今回は二つの万博を「つなぐ」という意味合いもある。

水谷さんは4月下旬に訪中し万博会場周辺で「みんなでつくるアートに参加しよう」と日本中英の3カ国語で書かれたチラシを配る。年齢や性別、国籍は問わずに参加者を募るという。水谷さんは「災害を乗り越えた子供たちの笑顔は希望に満ちている。その笑顔を見れば、誰もが幸せな気持ちになれるはず」と話している。



新毎日
4月16日(金)
2010年(平成22年)

発行所: 東京都千代田区一ツ橋1-1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321
毎日新聞東京本社